

◆城東区のきらりヒト◆

しとや 紙戸屋・中野表具店

部屋の間仕切りとしての建具「ふすま」は、日本ならではの文化です。
城東区で三代続く紙戸屋・中野表具店の皆さんに、「ふすま」について伺いました。
いま一度、「ふすま」文化を見なおしてみませんか。

家族でチームワーク

二代目である父親の病気を機に、三代目の一級表具師として、家業の表具店を継いだ中野 泰仁さん。表具師とは、ふすま・障子の建具から屏風・掛け軸の仕立て・修復をする職業のことです。「最近では、表具師という言葉を知らない人が多くなりました」と語る泰仁さん。

表具師になりたての頃は、店で働いていた職人さんや問屋の方々から教えを請い、必死で技術を習得されたそうです。その技術が認められ、平成26年度大阪市の「わが街のプロフェッショナル」にて、技能功労者として表彰されました。

家業は泰仁さんのほか、染師で妻の中野 幸代さん、意匠作成・一級表具師で妹の中野 智佳子さんの3人で営まれています。



◀左から幸代さん、店主・泰仁さん、智佳子さん

日本の「ふすま」は、ECOでSDGs

昔ながらのふすまは金具を使わず、竹釘^{てすき}、手漉和紙、天然染料とすべて自然の素材を使用し、手加工で作る伝統製法で作成されています。胴張りには、兵庫県の名塩に伝わる手漉き和紙「名塩和紙」を使用しており、この和紙は名塩産の泥を入れて漉かれるのが特徴です。また、裏がけで使う反古紙(昔の古い和紙)に書かれた墨文字もあわせて防虫効果があるそうです。

「昔から日本人はSDGsの取組みを暮らしに取り入れていた」と泰仁さんと智佳子さんに教えていただきました。ふすまは張替をすることで長く使うことができます。昔から現在まで環境に優しいECOな暮らしとして先人の知恵が受け継がれています。



▲萩の花の柄染め

ほんふすま

本棟の作成工程

伝統的なふすまの作成をダイジェストでご紹介！ 期間 採寸から作成に約1ヶ月



詳しくはお店のホームページをご覧ください。



オリジナルデザインのふすま「町家ふすま®」の誕生

住環境の変化でふすまや障子のある家屋が少なくなり、仕事が増え減少していく中、他の表具店との差別化を図るために、オリジナルデザインのふすまが考案がされました。

当時、グラフィックデザイナーとしてホームページの制作を仕事としていた智佳子さんが協力するために家業に加わります。

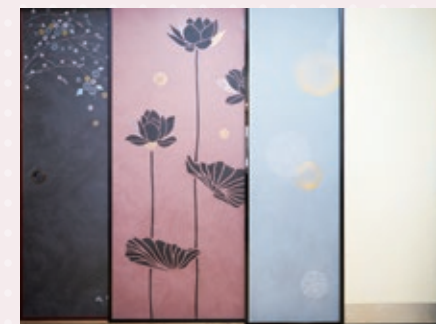
印刷が主流のふすま紙ですが、中野さんたちは「いつそのこと徹底的にこだわろう」という思いのもと、試行錯誤を繰り返し、天然染料、手加工、柄付けをすべて店内で完結させるというこだわりの詰まった、印刷では表現できない絵画のような「町家ふすま®」が誕生しました。

ふすまの引手も丸形だけでなく、千鳥やひょうたんなど多種多様。組み合わせで世界に一枚しかないオリジナルデザインのふすまになります。

また、「町家ふすま®」のほか、着物や帯をふすまに仕立て直した、「小袖ふすま」や「東ね熨斗」もあります。いずれも大阪府表具内装組合の展示会に出品し、高い評価を得ています。



▲ふすまの引手(取っ手部分)



▲モダンなデザインのふすま

表具師としての取組み

ふすまの使用が減少するとともに表具店の件数も減少、表具師を仕事とする若手の育成が難しい現在、大阪府の技能士連合会に所属する職業訓練指導員として府内の中学校から要請があれば「ものづくり教室」の講師として出向きます。

その他、表具の魅力を広く知ってもらうため、小学校の授業「町たんけん」への協力やパリで展示会も行っています。

「いずれ表具文化は暮らしの一部ではなく、日本の伝統工芸品になってしまうかもしれません」と危惧する智佳子さん。やはり日常の暮らしの一部で身近なものだからこそ、表具文化は受け継がれていくと紙戸屋・中野表具店の皆さんは考えます。

表具やふすまのデザイン、工程は
お店のホームページで
紹介しています！

教えて！
中野さん

ふすまの豆知識

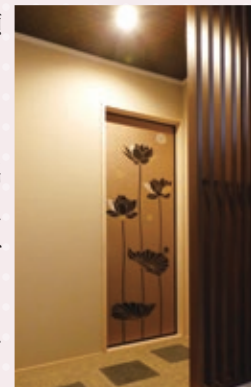
物理学者・アインシュタイン博士が日本を訪れた際、紙でできたふすまを見て指一本で簡単に動かせることや他に例のない軽さに驚いたそうです。お店のホームページに、その時の博士の言葉が英文で掲載されています。



区民の皆さんへ

「野江の町で表具店を始めて現在、三代目です。地元の企業や住民の皆さんに支えられ、家業を続けてこられたことに感謝しています」と、泰仁さんは笑顔で語ってくれました。

表具は、敷居の高いものではありません。ふすまだけではなく、思い出の着物で作成した掛け軸を部屋に飾ったり、戸棚にふすま紙を貼るだけでも、和の空間が広がります。くらしに日本らしいものを取り入れてみるきっかけにいかがでしょうか。



▲「町家ふすま®」ロータス

紙戸屋・中野表具店

営業時間 10:00~18:00
休業日 土日祝、年末年始、お盆
ところ ●事務所 野江4-3-29
●工房 野江3-28-11
問合せ ☎ 6931-4856 FAX 6935-1245
ホームページ <https://fusuma.jp/>

